

佐久市健康長寿まちづくり計画（案）概要

[1] 計画策定の背景

全国的にも、少子高齢化の進行や、それに伴う消費生活の状況の変化に対応するためには、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、住んでいる全ての人々が安心して心豊かに暮らせるよう、様々な都市機能が集約したまちづくりを進めることが重要となっています。

健康長寿まちづくり計画は、将来的な人口減少と地域経済の縮小に対応するため、佐久平駅周辺及び近接する中心拠点である岩村田周辺を、本市の特徴でもある健康長寿を生かしたまちづくりのエリアとして位置づけ、このエリアのまちづくりの方向性を示し、それを具現化する中でその効果を全市へ波及させていくことを目的として策定します。

[2] 健康長寿まちづくり計画の位置付け

本計画は、第二次佐久市総合計画を上位計画として、佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略・佐久市都市計画マスタープラン・佐久市立地適正化計画・佐久市地域公共交通網形成計画などのまちづくりと関係する計画との整合を図り、平成29年度から平成33年度までの5年間の計画期間とし、健康長寿を生かしたまちづくりのエリアの将来像とその実現に向けた基本方針、基本方針を具現化する施策の基本的方向をまとめるものです。

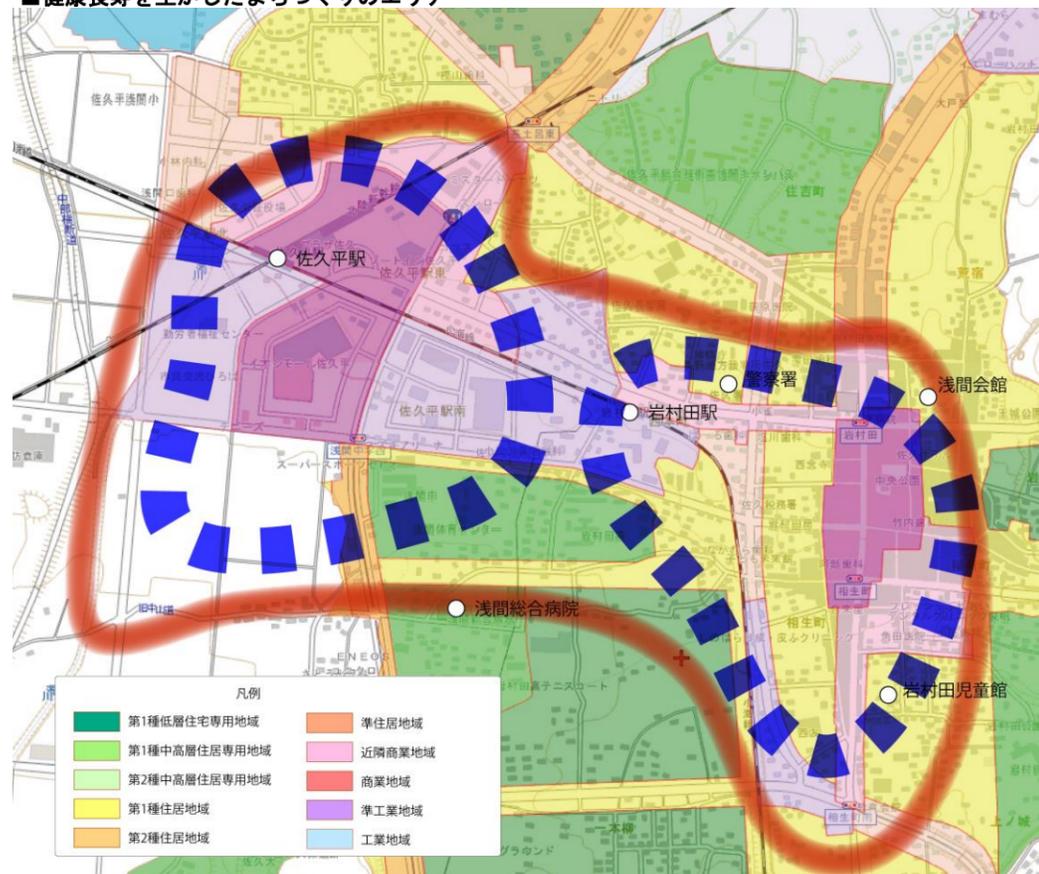
なお、計画の実効性をより高めるため、本計画を基に次年度以降、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の策定を目指します。

[3] 健康長寿を生かしたまちづくりのエリア

本計画では、江戸期からの歴史を有し商業をけん引してきた岩村田地区及び岩村田地区に近接し本市の玄関口である佐久平駅周辺を、健康長寿を生かしたまちづくりのエリア（以下「中心市街地」といいます。）として位置付けます。

佐久市が将来にわたり選ばれる「まち」として活力を維持していくためには、まずは、この区域のまちづくりについて考え、その効果を佐久市全体に広げていくことが重要になります。また、まちづくりには、佐久市の強みである「健康長寿」の要素を取り入れ、ハード・ソフトの様々な施策を展開します。

■健康長寿を生かしたまちづくりのエリア



[4] 佐久市の概況及び中心市街地の現状・課題等

佐久市及び中心市街地の基礎データ

A 上位計画	B 関連計画
①第二次佐久市総合計画（策定中）	①佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ②佐久市都市計画マスタープラン ③佐久市立地適正化計画（策定中） ④佐久市地域公共交通網形成計画（策定中）
C 現況データ	D 地域住民等ニーズ
①人口・世帯に関する動向 ②土地利用・公共施設等に関する状況 ③商業・観光等に関する状況 ④公共交通に関する状況	①佐久市健康長寿まちづくり計画策定に向けた住民意識調査 ②佐久市健康長寿まちづくり協議会ワークショップ ③既往アンケート調査

佐久市及び中心市街地の主要な課題

- (定住に資する就業環境整備)
- 地元で就職を希望する学生や就職を機に地元へのUターンを考えている学生等がいる一方で、市内企業の中には人材の確保が課題と考えている企業があり、企業側が求める人材とのマッチングや人材の育成が必要です。
本市には、地域医療の歴史や地域と一体となった保健予防活動などによる「健康長寿のまち」としての強みがあります。この強みを生かした産業の集積や起業支援により、若い世代や都市部からの移住者には選ばれる就業環境の整備が求められます。
- (子育て世代の移住促進)
- 本市全体の人口は減少傾向にありますが、中心市街地の人口は増加傾向にあります。しかしながら、中心市街地の年齢構成を見ると20歳代前半が少なく、これらの年齢層の流出抑制策の検討や少子高齢社会の進行に対応するため、子育て世代の移住促進が求められます。
- (経済活力の向上)
- 中心市街地は商店街や大型店といった小売店舗が市内他地域よりも集積している一方で、年間小売販売額は減少傾向にあり、中心市街地の経済活力の向上が必要です。
大型店と商店街ではこれまで電子マネーの共通利用を行うなど、販促活動の連携を行っているものの、中心市街地の年間販売額に占める大型店の割合は広がり、現在は約9割となっています。地元の商業・サービス店舗の魅力向上を望む声が多いことから、さらなる連携策の検討・実施や、大型店と商店街が行き来しやすい環境整備を進めることで、買い物客を回遊させる仕組みが求められます。
- (地域資源の活用)
- 中心市街地や市内には旧中込学校や五稜郭、旧中山道をはじめとする歴史資源や自然環境、農産物などの地域資源があります。
これらの資源の効果的な活用による交流人口の創出を図るため、情報発信力の強化や資源のネットワーク化により、来訪者の増加に結びつけることが求められます。
- (地域公共交通の利便性向上)
- 機能集約・ネットワーク型まちづくりを進める上で、拠点地区同士を結ぶ基幹交通網の整備を図るとともに、周辺地域から中心市街地へのアクセス交通の確保など、公共交通の利便性向上が求められており、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築が必要です。

《まちの将来像》

安全・快適・健康で住む人も来る人も過ごしやすいまち

《まちづくりのテーマ》

医療・産業・地域の連携による未来につながるまちづくり

《まちづくりの基本戦略》

- 佐久市の人口は今後も減少傾向が予想され、若者層の流出という課題があります。一方、中心市街地においては現状、人口は維持され少子高齢化の傾向は緩やかです。そのため、少子高齢化の問題が深刻化する前に対応策を実施し、佐久市の維持・発展の原動力とします。
- 佐久市商圏の人口が減少し、地元商店街、大型店とも売上が低迷する中、商圏の吸引率を上げるために、地元商店街と大型店の連携による多様化するニーズへの対応、周辺地域からの公共交通の利便性向上により、商業集積地としての魅力向上を目指します。
- 若者層の流出抑制、U I J ターンを含めた定住促進を図るため、就業の場の確保や本市の特徴を生かした産業の育成による経済の活性化を目指します。
- 「健康長寿のまち」という視点のもと、超高齢社会において、高齢者が安心して生活することができ、子育て世代も安心して子育てできる取組を行い、高齢者から子どもまで健康で生活できる環境をつくります。
- 市の観光資源を充実させ、積極的なPR活動を行うことで、観光産業を活性化させ、佐久市への長期滞在、リピート率を向上させます。

基本方針 1

健康長寿のまちを支える特徴ある産業・観光振興の推進

＜主要施策＞

1 健康長寿を生かした産業の活性化

- 保健医療分野における視察研修の受入拡大と国際展開（保健医療分野における海外からの視察研修の受入体制の充実等）
- ヘルスケア関連産業の強化（ヘルスケア関連産業の集積や新製品・新技術の開発等の支援、大学等との連携による地域の医療・福祉産業の活性化等）

2 既存企業への支援

- 新製品・新技術の開発促進（産学官連携や企業間連携への支援等）
- 企業経営や技術面での支援（産業支援機関の設置、企業経営・品質管理など相談体制の充実強化等）

3 地元農産物等のブランディング

- 地産地消の推進（地元農産物を使った料理や佐久市産酒米を使った地酒のPR等）
- 地域資源を生かした特産品の販売（空き店舗等を活用した特産品販売の場の設置等）

4 健康長寿を生かした観光・まちづくり

- 広域観光の推進（中心市街地と市内各地域との連携、健康長寿を生かした観光プログラムや観光ツールの構築、観光ガイドの育成等）
- 観光情報等の発信（様々な媒体による佐久市の人・街・食・環境のPR等）
- 健康長寿まちづくりを推進するための新法人の立上げ（まちづくりを推進する新法人の設立と自立した運営等）

基本方針 2

誰もが健康で生き生きと暮らせて、安心して子育てのしやすいまちづくりの推進

＜主要施策＞

1 健康長寿を支える地域包括ケア体制の強化

- 地域包括支援センターの運営強化（地域包括支援センターの運営強化、在宅医療介護の連携、生活支援サービスの体制整備等）
- 高齢者大学・大学院等による仲間づくりと地域活動リーダーの育成（高齢者大学・大学院の活用促進と地域活動のリーダー育成、公民館活動の充実等）
- 高齢者の健康維持・増進（「栄養」「運動」をキーワードに高齢者が楽しみながら健康維持に取り組める環境づくりの促進、空き店舗活用による健康相談の実施等）

2 子育て世帯の定住に向けた子育てサービスの充実

- 子育て世帯への支援（保健師・助産師による訪問指導等）
- 多様なニーズに対応した保育サービスの提供（病児・病後児保育や第3子以降の保育料無料化等）
- 子育て世帯が交流できるサービス・相談体制の充実（各種子育て講座の開催や子育てサークルへの支援、子育ての住民相互援助活動支援等）

3 子育て世代の女性の働きやすい環境づくり

- 子育て世代の女性に対する就労環境の改善（子育て世代の女性に対する相談支援、市内企業へのワーク・ライフ・バランスの啓発等）
- 子育て世代の女性が起業できる環境づくり（子育て中の母親等の自宅等での起業に対する支援）

4 若い世代や移住者の雇用の創出

- U I J ターン就職等の促進（インターンシップ支援、首都圏でのPRイベント実施等）
- 雇用の場の確保と人材の育成（サテライトオフィス等誘致、大学等との連携による地域の医療・福祉産業の人材育成等）
- 移住者の雇用促進（移住者雇用に対する支援、就職相談員の設置等）

5 移住者の居住環境整備と移住情報の発信

- 移住者の居住環境の整備（空き家物件の紹介、移住体験住宅の提供等）
- 移住情報の発信（様々な媒体を活用した情報発信の強化等）
- 生涯活躍のまち（日本版CCRC）の構築

6 医療施設・文化施設等の公共公益施設の充実

- 浅間総合病院の充実（計画的な施設・設備整備等）
- 高齢化に対応した病院施設整備の促進（医療療養病床等施設整備に対する支援）
- 子ども未来館の運営充実（設備等のリニューアルと運営の充実）
- 佐久平交流センターの利便性向上（施設と第二駐車場を結ぶ連絡歩道橋の整備）
- 岩村田小学校の改築

7 新たな都市基盤整備

- 樋橋地区における新たな都市基盤整備（樋橋地区土地区画整理準備組合に対する支援、都市施設の計画的な整備、良好な市街地環境の形成等）

基本方針 3

地域コミュニティを支える魅力ある商業の振興と地域公共交通の充実

＜主要施策＞

1 商店街等における起業支援と地域産業との連携

- 健康長寿関連器具のアンテナショップ（空き店舗等を活用した、健康長寿関連の医療・福祉器具を販売するアンテナショップの開設）
- 新規開業希望者の支援（新規開業希望者を支援する創業塾等の開催等）
- 商店街の空き店舗を活用した起業等への支援（空き店舗等を利用した開業への支援、事業承継への取組促進等）

2 商店街における国際化対応

- 外国人移住者・来訪者へのサポート（外国人移住者の日常生活をサポートする場の整備等）

3 大型店と商店街の連携及び商店街の環境整備による集客増

- SNS等の活用による商店街や佐久地域の情報発信（商店街や大型店、佐久地域の情報発信）
- 中心市街地におけるイベントをはじめとする販促活動による集客力の強化（大型店と商店街が連携した販促活動、商店街に人を呼び込む新たな仕組みの検討等）
- 商店街における老朽建築物の建て替え（老朽化が進む商店街の店舗等の建て替え促進等）

4 地域公共交通の利便性向上

- まちづくりと連携した地域公共交通体系の構築（周辺の居住地から中心市街地までのアクセス確保、交通手段を持たない人の買い物や通院など日常における移動手段の確保等）

＜本計画の進行管理における管理指標＞

＜基本方針1に関連する管理指標＞		＜基本方針2に関連する管理指標＞		＜基本方針3に関連する管理指標＞	
中心市街地の事業所数増		中心市街地の人口の社会増		中心市街地の空き店舗を活用した創業件数	
基準値	目標値	基準値	目標値	基準値	目標値
13件増 (H21～26累計)	25件増 (H29～33累計)	184人 (H23～27累計)	270人 (H29～33累計)	7件 (H26～28累計)	20件 (H29～33累計)
2.6件/年	5件/年	36.8人/年	54人/年	2.3件/年	4件/年